

模擬試験ラインナップ数 No.1*

国家試験全員合格を力強くトータルサポートします!

※看護師国家試験対策模擬試験 2024年3月現在のラインナップ数 (当社調べ)

2024年度
ご案内

入学生から最終学年まで各時期に合わせたテストをご用意!

1	第114回 看護師国家試験対策テスト (各240問)	第1回 実施推奨期間 2024年4月1日~8月30日 第2回 実施推奨期間 2024年7月18日~11月29日 第3回 実施推奨期間 2024年11月8日~2025年1月31日
2	2024年度 必修問題トレーニングテスト (50問×2) 〔必修問題対策教材 付き〕 NEW!	実施推奨期間 2024年4月9日~ 2025年3月21日
3	2025年受験者対象 基礎学力到達度チェックテスト (130問)	NEW! お得で便利な新セット登場! 実施推奨期間 2024年1月16日~ 12月25日
4	2024年度 科目別実力テスト (各90問) 【人体の構造と機能: 解剖生理学】 【疾病の成り立ちと回復の促進: 病態生理学】	実施推奨期間 2024年4月1日~ 2025年3月21日
5	2024年度 弱点克服! 看護学生 スタートアップテスト (90問)	実施推奨期間 2024年4月1日~ 2025年3月21日
6	第111回 保健師国家試験対策テスト (110問) 〔Nプラス保健師 付き〕	実施推奨期間 2024年8月7日~ 2025年1月28日

用途・目的に合わせたe-Learningもぜひご活用ください!

国家試験過去問題を活用した学習を
効果的・効率的に進めることができる!

Nplus Nプラス e-Learning
【看護師】約4,400問
【保健師】約1,800問
【助産師】約1,100問

国家試験の過去問題を自在に活用できるe-Learningの決定版です。スマートフォン、タブレット、パソコンでいつでもどこでも挑戦できるので便利!

こんな教員におすすめ!

- 目的に応じたテスト作成・配信を通して、学年・クラス全体の学力の底上げや弱点克服を行いたい教員
- 課題作成・配信をひとつのシステムで行いたい教員

模擬試験の復習を効果的かつ
発展的に行えるようサポート!

看護学生のための個別学習サポート

BeNs. ビーナス
メディカ出版が保有する教科書・動画・問題などのコンテンツを国家試験出題基準ごとに分類し、学習者が“今、学習すべき”内容を提案するe-Learningです。

こんな教員におすすめ!

- 学生が自分で学習を深めていけるe-Learningがほしい教員
- 学生が模擬試験のふりかえり学習を効果的・効率的に進められるe-Learningがほしい教員

メディカコンクール

2024年度
リニューアル

必修問題

必修問題
対策教材 付き

トレーニングテスト

50問×2

受験いただく皆様に、**必修対策教材**を進呈!!



必修問題の出題傾向が変化しています!

過去問題を解くだけではない、【豊富なイラスト】と【噛み砕いた解説】で理解と知識の関連付けをサポートする教材をお届けします!!

2024年7月中旬ごろにお申し込み校へお届けいたします!

※7月中旬以降にお申し込みの場合は、弊社でのお申し込み手続き完了後に順次お届けいたします。



必修対策教材の特徴

- 全160(予定)ページの中に、必修領域の頻出項目をギュッと収載。
- 自分で完成させる図表を多数収載。要点整理やノートづくりに役立てることができます。
- 「暗記」ではなく「理解」ができるように、わかりやすく噛み砕いた用語解説を掲載。どんな出題のされ方でも、対応できる知識の定着を手助けします。

学年別 活用方法

●最終学年

夏休み期間を活用して、繰り返し学習してください。
夏休み明けの模擬試験で、得点率80%達成を目指してください。

●低学年

書籍で学習⇒模擬試験で習熟度の確認、とすることで、早期の必修対策を行うことができます。



受験料
(税込)

単品	2,000円	必修問題対策教材付き
セット価格	5回セット 8,200円	(対策テスト全3回+必修+基礎学力)
	4回セット 7,200円	(対策テスト全3回+必修または基礎学力)
	3回セット 6,000円	(対策テスト1~3回、必修の4種のうち3種選択)

Nプラス無料提供!

お問い合わせ

MC 株式会社 メディカ出版 基礎教育営業課
〒532-8588 大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル16F

お問い合わせはこちら▶



MC メディカ出版

サンプルページは
中面をご覧ください



特別に誌面を
大公開！
【実物サイズです】

CHECK 1

実際の過去問題を掲載。
国家試験ではどんな内容
が問われるかをしっかり押
さえられる！

CHECK 2

豊富なイラストで、重要な
ポイントがひと目でわかる！
本文を読み、学生自身が書
き込んで図表を完成させる
ことで、知識の定着をサ
ポート！
※解答はweb上で公開

10 人体の構造と機能

1 人体の基本的な構造と正常な機能

いわゆる「解剖生理」。いろいろと試験のヤマはあるけれど、
まずはここに記載した内容を理解しながらマスターしてしまおう。

動脈で正しいのはどれか。

- ① 骨格筋の収縮は動脈の血流を助けている。
- ② 内膜、中膜および外膜のうち中膜が最も厚い。
- ③ 逆流を防ぐ弁が備わっている。
- ④ 大動脈は弾性線維が乏しい。

(第97回 午後5問)

よく
出る！

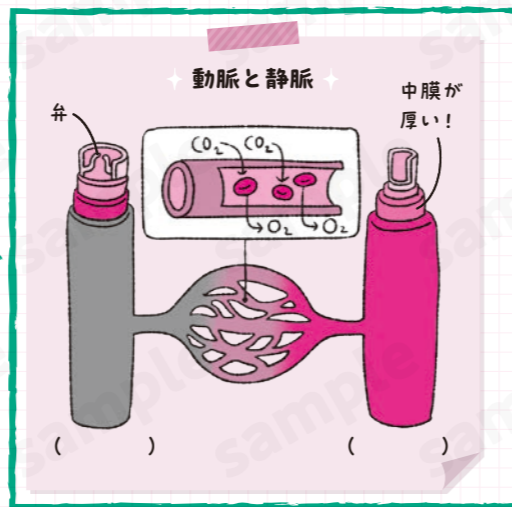
動脈と静脈 ★★

動脈は内膜、中膜および外膜のうち
中膜が最も厚い。動脈の中膜は**平滑筋
層と弾性線維**に富んでおり、高い血圧
に耐えられるように中膜が厚くなっ
ている。

静脈には逆流を防ぐ弁が備わって
おり、骨格筋の収縮は静脈の血流を助
けている。

血管の名称 ★★★

心臓から拍出される血液を流す管が
動脈で、心臓に戻る血液を流す管を**静脈**という。酸素の多い動脈血が流れる管が動脈で
はないことに注意！



Point

肺循環：心臓の右心室から肺に出て行く血液は二酸化炭素の多い静脈血だが、その血液を流す血管は**肺動脈**という。肺で酸素が増えた動脈血が心臓に戻る血管を**肺静脈**という。

栄養血管 ★★★

栄養血管は「酸素を臓器に届ける血管」
だと理解しよう。文字どおりの栄養物
を流す血管だと思わないように！

心筋の栄養血管は冠状

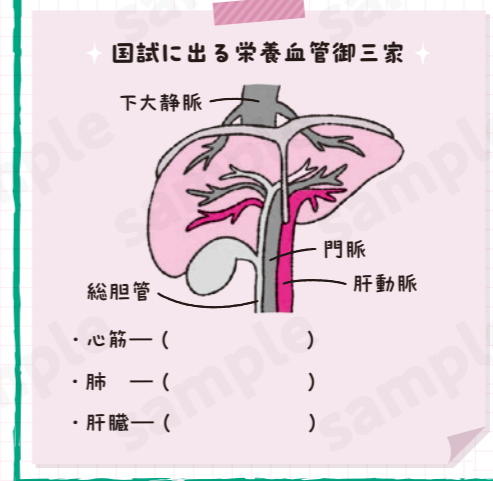
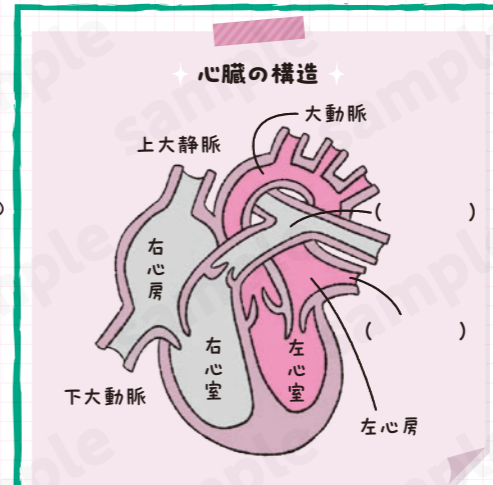
動脈、肺は**気管支動脈**、肝臓は**肝動脈**。
特に肝臓は要注意。肝臓には門脈と
いう血管があるが、門脈は小腸から吸
収された栄養分が多く流れる血管であ
るが、**栄養血管ではない**ことに注意。

肝臓の働き ★★★

肝臓は血液の浸透圧を維持する**アル
ブミン**、血栓の成分になる血液凝固因
子の**プロトロンビン**や**フィブリノゲン**
が作られる臓器である。この二つの違
いはプロトロンビンの生成には**ビタミ
ンK**が必要であり、そのビタミンKを
阻害するのが**ワルファリン**である。そ
のため、ワルファリンを内服する時は、
ビタミンKを多く含んでいる**納豆は禁
食**となる。



アルブミンやプロトロンビン、フィブリノゲンはタンパク質なので、「タンパクを生成」すること、つまり「タンパク代謝」と言い換えることができるよ



CHECK 3

学生が勘違いしやすい・理
解しづらい内容は「Point」
としてピックアップ！

CHECK 4

図表をまとめたふせん風
メモは、切り貼りするこ
とで、ノートづくりに活用で
きる！自分の苦手を見直せ
る、オリジナルノートをつ
くるきっかけに。

CHECK 5

暗記を避けるため、本文内
容をさらに噛み砕いた解説
を掲載。理解が深まり、さ
まざまな切り口の出題に
対応できるようになる！

解答 ②

目次

1章 健康の定義と理解

- 1 健康に関する指標
- 2 受療状況

2章 健康に影響する要因

- 1 生活行動・習慣
- 2 生活環境
- 3 社会環境

3章 看護で活用する社会保障

- 1 医療保険制度の基本
- 2 介護保険制度の基本

4章 看護における倫理

- 1 基本的人権の擁護

5章 看護に関わる基本的法律

- 1 保健師助産師看護師法

6章 人間の特性

- 1 人間と欲求
- 2 対象の特性

7章 ライフサイクル

- 1 胎児期
- 2 新生児・乳児期
- 3 幼児期
- 4 思春期
- 5 成人期
- 6 老年期

8章 患者と家族

- 1 家族の機能

9章 主な看護活動の場と看護の機能

- 1 看護活動の場と機能・役割

10章 人体の構造と機能

- 1 人体の基本的な構造と正常な機能
- 2 人間の死

11章 徴候と疾患

- 1 主要な症状と徴候
- 2 主要な疾患による健康障害
- 3 基本的な臨床検査値の評価

12章 薬物の作用とその管理

- 1 主な薬物の効果と副作用
- 2 薬物の管理

13章 看護における基本技術

- 1 コミュニケーション
- 2 看護過程
- 3 フィジカルアセスメント

14章 日常生活援助技術

- 1 食事
- 2 排泄
- 3 活動と休息
- 4 清潔

15章 患者の安全・安楽を守る看護技術

- 1 療養環境
- 2 感染対策防止

16章 診療に伴う看護技術

- 1 栄養法
- 2 薬物療法
- 3 輸液・輸液管理
- 4 採血
- 5 呼吸管理
- 6 救命救急処置
- 7 皮膚・創傷の管理